110413-1面 11/04/12 19:35 ページ 1

（昭和31年2月4日第3種郵便物認可561号）

THE TOHKAI SHIMPO

東海新報

平成23年（2011年）4月13日 水曜日

第16013号 日刊（月曜日休刊）

負けるな気仙!! 心をひとつに 復興目指して一歩ずつ前へ!!

きょうの紙面

津波で孤立、マイヤ５階建てビルが命を救ったグラフとレポート……３、４面
無事だった穴通磯と姿を消した湾口防波堤、自然と人工で明暗分ける……５面
「思い出」を未来に、がれきと化した地域から写真を集める活動……６面

©東海新報社 〒022-0002 大船渡市大船渡町字鷹頭9-1 TEL0192-27-1000㈹ FAX0192-27-2154 振替口座02300-9-188 http://www.tohkaishimpo.com/

市内9割が依然断水

水源地に海水が流入
塩分高く再開めど立たず
陸前高田

東日本大震災により壊滅的な影響を受けた陸前高田市。震災後すでに1カ月が経過してライフラインの復旧が望まれているが、特に水道の復旧に遅れが見られ、市内9割ほどの地域で依然断水が続いている。津波によって水源地に海水が流入し、塩分濃度が高くなっていることが主な要因。市では水をくみ上げ、濃度が低くなるように作業を続けているが、給水再開のめどは立っていない。

同市の水道は、簡易水道（生出・二又、下矢作、横田、金成）に大きな被害がなかった。しかし、上水道の水源地である竹駒第1水源（竹駒町）をはじめ、同第2水源（同）、結ぶ廻館橋から200㍍ほど下流の気仙川沿いにある。震災前は1日当たり5000㌧を3・14㌔離れた高田町字鳴石の高田配水池（2250㌧タンク2基）にポンプで圧送。海抜80㍍の高さにある同配水池から自然流下させ、高田町や米崎町、小友町、広田町、気仙町今泉地区、同町長部地区（一部）の市内9割弱世帯に給水していた。

ところが、今回の大津波の来襲により同水源に海水が入り込み、飲用水として使用できなくなった。4月初旬の調査結果では、塩化物イオン基準値（1㍑中200㍉㌘以下）の3倍以上の塩分濃度となっている。

そこで、連日水源にたまる水をくみ上げる作業を続けているが、思うように濃度が低くならない状況となっている。これは周辺の広い範囲に津波が押し寄せたことから、土壌に塩分が染み込んでいることが考えられる。

市民の中には、震災後いまだに入浴をしていない人がいて、衛生面での体調の悪化が懸念される。また、昨年の猛暑のような夏の時期にまで断水が長期化するようであれば、「避難所では暮らせない」といった声が出始めており、一日も早い給水が期待されているが、いまのところ再開のめどは立っていない。

このため、同市は毎日住田町から水を供給してもらい、自衛隊が各地の避難所へ運んでいる。

市水道事業所の大坂幹夫所長は「住田町には水だけでなく、人員まで配置していただき感謝している。現段階では水道を当分の間使用できませんが、早期の復旧を目指して水源から水のくみ上げや別の水源を探すなどの作業を進めていますので、理解してほしい」と話している。

問い合わせは陸前高田商工会（TEL080・1667・5487、TEL080・2820・5588、TEL080・2820・5437）へ。

安否情報伝言メモ

▽岩手大学では動物移動検診車を使い、獣医健診を行います。日時は14日（木）12時30分から15時30分まで陸前高田第一中学校、同15時30分から16時30分までサンビレッジ高田で。

▽被災した方のため、静岡県伊東市の別荘を1年ほど無料で提供します。5人家族くらいまで、永住も可。希望の方は東京都府中市の佐々木公明（TEL042・363・2454）まで連絡を。

▽末崎町細浦にあった吉田屋㈱の吉田宗弘さんを捜しています。ご存じの方がおりましたら、神奈川電算㈱（鎌倉市大船1の18の12）の近田秀喜（TEL0990・3104・7198）まで連絡を。

労働・生活相談会
15日に陸前高田商工会

陸前高田市内で被災した企業や労働者を対象とした労働・生活相談会（市、大船渡公共職業安定所、陸前高田商工会主催）は15日（金）午前10時から、高田町のエコタウン鳴石内にある陸前高田商工会仮事務所で行われる。

相談内容は▽賃金・解雇等労働条件▽労災保険給付▽労働者の雇用保険の支給▽事業所の雇用維持▽労働保険料の申告や納付▽社会保険――などに関することとなっている。

入居倍率6・3倍に
公舎空室利用の仮設住宅
大船渡

大船渡市によると、12日午後4時30分時点での死亡者数は288人で、11日と変わらなかった。新たな身元判明者は1人。遺体は盛町の市民体育館に安置され、立根町のおおふなと斎苑などで火葬が順次行われている。

行方不明者も205人のままで変わらず。

津波が押し寄せて海水が流入した竹駒第1水源＝陸前高田市

17日に「住田い町商品券」を販売へ（見本）

この度の大災害で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます
希望ヶ丘病院
精神・神経内科・療養病床
入院・外来
陸前高田市高田町大隅 ☎090-7792-2579

被災田多く約3割減
大船渡市農協 水稲苗の播種作業開始

大船渡市農協は11日から水稲の播種作業を開始した。大震災の津波で被災した水田も多く、播種量は現時点で平年の3割以上の減となる見通し。

水田のがれき撤去で田植え準備が遅れている農家もあり、水稲苗の追加の相談も受けている。

市農協の育苗センターは2カ所が被災し、同日の播種作業は被災を免れた陸前高田市竹駒町の西部農業センターで播種式が行われた。

播種量は7万箱を目標にしており、平年の10万箱を大きく下回る。品種はひとめぼれが80％、あきたこまち約15％、その他もち米など。

被災した水田は、陸前高田市内は小友、高田などで昨年の作付け面積の7割以上、大船渡市内は3割以上に上る。

播種量もこのため3割以上減る見通し。市農協では「7万箱前後を目標にしているが、それよりやや落ちるかも」と話す。

同センターでは、育てた水稲苗を5月7日から配布を開始し、播種作業も同20日ごろまで続ける予定。

市農協営農部では、「6月10日までに田植えをすれば、遅れを挽回することが可能」とし、その場合でも平年作もしくは2、3割減で治まる収量を得られる見込みがあるとしている。

可能な限り水稲苗を供給する体制でおり、「田植えがしたい農家は、追加注文の相談をしてほしい」と呼びかけている。

震災の影響で水稲の播種量も減に＝大船渡市農協

17日に一斉販売
住田い町商品券
3会場で

住田町商工会（横澤吉夫会長）は17日（日）午前10時から、プレミアム付き商品券「住田い町商品券」を町農林会館、下有住基幹集落センター、上有住地区公民館の3会場で販売する。町内の商店などで利用できる同券1万2000円分を1万円で提供し、地域経済活性化の一助にしようとの狙い。

同商品券は500円券の24枚つづりとなっており、取り扱い申請をした小売、飲食、サービスなど同商工会加盟の65店舗で利用できる。

計1000セットを用意しており、購入は1世帯につき3セットまでに限る。申込用紙への記入が必要。時間は午後1時まで。

問い合わせは同商工会（TEL46・2311）へ。

世迷言

大船渡市の戸田市長らが国交省東北地方整備局を訪れ、大船渡湾口防波堤の復旧を要望したという本紙記事を読んで、はてなと首をかしげた。主旨はわからぬではないが、タイミング的には不急と思われる陳情だからだ▼しかしすぐ合点がいった。これは、被災して少なからぬダメージを受けた太平洋セメント大船渡工場が撤退しないよう地元として精一杯の〝応援〟なのだと。防波堤はじめ復興事業にコンクリートは不可欠なのだから、大船渡工場は絶対必要だという無言のメッセージなのだと▼だが、被災を境にして防波堤が必要だというのは市民の総意でなくなっている。いくら海に〝万里の長城〟など築いても大自然の猛威の前にはしょせん「蟷螂の斧」であることが露呈したからだ。田老が誇る10㍍の防潮堤すら津波はあっさりと超えたのである▼小社は湾口から襲来してくる津波の模様をビデオに収めたが、これを見た東北大の今村文彦教授が指摘するように「津波の伝播を遅くした」効果はあったとしても、逃げろという警告となる第1波の到達を遅らせた一面も否定できない。防波堤の開口部が押し波の圧力を強めた逆効果もビデオは証明している▼津波の圧力を構造物で遮るという考え方は人間の不遜であるとする意見も出てきたが、しかし太平洋セメント大船渡工場は踏みとどまって復興特需に応えていただきたい。さらに、カキ、ホタテなどを陸上養殖できる巨大水槽を造るという構想も生まれるだろう。防波堤の予算をこちらに回すことだ。

天気

◆きょう 晴れ

◆あす 晴れ

海上（波の高さ）

◆きょう 1.5mのち2m

◆あす 1.5m

きのうの気温（右は平年比、△高 ▼低）

◉最高 11.1℃ ▼1.9

◉最低 1.8℃ ▼1.7

あすの暦

4月14日（旧3月12日友引）

日出 4：57
日入 18：08
月出 13：38
月入 2：09
月齢 10・5

満潮 0：53
〃 11：47
干潮 6：22
〃 18：36
―中潮―（大船渡湾）

住田町

12日正午現在、住田町民で行方不明となっているのは、紺野仁さん（上有住桧山）と佐々木洋子さん（下有住新切）の2人。災害対策本部では引き続き情報収集と提供を呼びかけている。

7日の大きな余震以降、午前授業になっていた小中学校は同日から平常授業を再開。震災にあたり小学校に16人、中学校には6人の児童生徒が大船渡、陸前高田両市はじめ、大槌町、福島県内から転入しており、住田で新生活のスタートを切っている。

独自建設の応急仮設住宅の入居受け付けは同日で締め切り。応募が建設戸数を超えた場合の公開抽選は、団地ごと完成・入居のめどがついてからを見込んでおり、もっとも早い火石団地で今月下旬ごろになりそうだ。

住田い町商品券の24枚つづりとなっており、取り扱い申請をした小売、飲食、サービスなど同商工会加盟の65店舗で利用できる。

計1000セットを用意しており、購入は1世帯につき3セットまでに限る。申込用紙への記入が必要。時間は午後1時まで。

問い合わせは同商工会（TEL46・2311）へ。

ガンバロウ気仙!! 営業始めます。

この度の大災害で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
弊社も工場が流出しましたが、下記にて社員と共に復興の第一歩を踏み出すことに致しました。当分の間ご不便をおかけするかと存じますが、よろしくお願い申し上げます。
陸前高田市米崎町字地竹沢97-2
080-6001-9904
090-3127-7058（熊谷）
※住田営業所も近日再開予定
タクミ印刷 有限会社
代表取締役 熊谷千洋 スタッフ一同

この度の大災害で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます
屋根・外壁・雨どいの葺替、補修交換等承ります!!
……固定電話復旧までの間、下記までご連絡下さい……
090-4633-3007（管 修一）
090-1068-9938（管 和男）
屋根・外壁・雨どい 太陽光発電の専門施工店 管板金工業所 大船渡市末崎町神坂66―4

営業再開のお知らせ
この度の大災害で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。お得意様には大変ご迷惑をお掛けいたしております。本来なら直接お伺いしてごあいさつ申し上げるところですが、紙上を借りお知らせいたします。
4月11日より営業しております
固定電話復旧までのご連絡は
090-8890-0278
アカネ電気
大船渡市大船渡町字地の森27―12